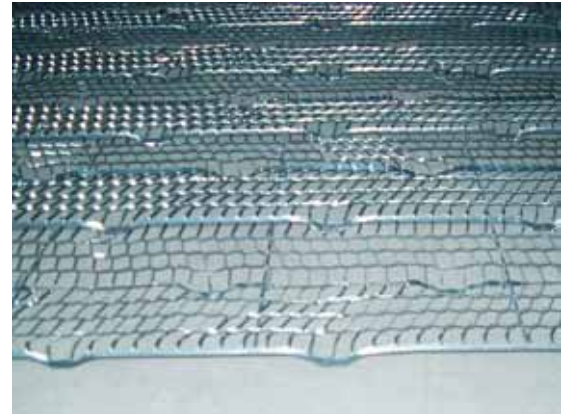
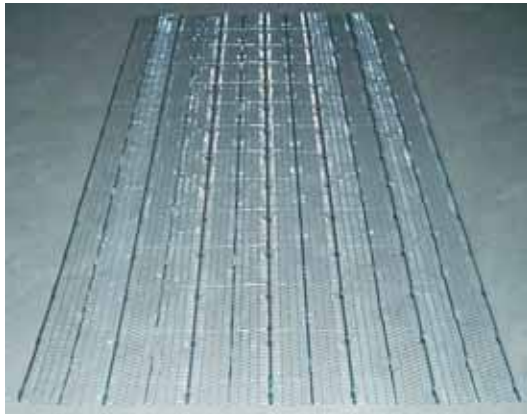


アングルラス LASS-R / RW 型

下地板のある壁面の モルタル下地用ラスです

従来のリブラスは、リブ部を下地板に着けてアミ部を浮かす方法でしたが、LASS-RW 型は更に進化しリブ部とツナギ部にコブを設けて、アミ部とリブ部を浮かすよう工夫されています。



[写真は LASS-RW 型(力骨付き)]

特徴

深さ 8 mm のコブが 150 mm 間隔に千鳥配列に設けてある

リブの鉄板部分が極力小さい

リブ部が 150 mm 間隔に 7 本あり
その中間にツナギ部が並列して 6 本ある

効果

コブによりラスが浮き、モルタル厚さの芯に納まる

リブの山高が 3 mm と小さいことにより、応力の分散が図られている

モルタルが下地板まで廻り、ラスを包み込むためラスモルタルの一体成形が行われる